

A I オンデマンド交通の導入に関するアンケート調査にあたって

1 はじめに

令和 5 年 7 月 2 7 日に開催しました新宿区地域公共交通会議分科会（第 1 回）につきましては、ご多忙のところご出席を頂き、誠にありがとうございました。

新宿区では、当該分科会におきまして、委員やオブザーバーの皆様と一緒に、A I オンデマンド交通の導入に向けた検討を行うにあたり、皆様の意向や課題の詳細を早期に把握したいと考えています。

つきましては、お盆休みと重複する期間での依頼となり大変恐縮ではございますが、アンケート調査へのご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

2 A I オンデマンド交通の導入に関する新宿区の考え

区としては、A I オンデマンド交通の導入にあたり、持続可能であることが重要であると考えています。つまり、運行主体となる交通事業者様の採算性を確保することが重要であるとともに、自主性を尊重したいと考えています。つきましては、以下の事項を踏まえて頂き、様々な点について積極的なご提案を頂きたいと考えています。

対象区域等のほか様々な提案事項について、区は柔軟な姿勢で協議させて頂きたいと考えています。

(1) ご提案して頂くにあたり踏まえてほしい事項

ア 区民の日常移動の負担軽減

- ◆ 区内に交通不便地域はありませんが、バス停留所から 3 0 0 m 超となるバス停空白地帯が 4 箇所存在しています。
- ◆ バス停空白地帯の周辺は坂道や階段が多く存在するため、特に高齢者、子育て世帯、障害者が移動する際、強い負担を強いられる環境があります。
- ◆ また、少なくない高齢者世帯にとって、居住地から身近な生活関連施設までの距離が、移動許容距離（3 0 0 ~ 3 5 0 m）を超えているため、移動する際に多くの負担があります。

イ 観光客や来街者の利便性向上

- ◆ 観光施設や集客施設は、新宿駅周辺に集中していますが、その他の場所にも魅力ある観光施設等が点在しています。観光客や来街者が、既存の交通結節点や宿泊施設から一定範囲内に点在する観光施設等間を移動する際、異なる交通手段を利用するより同じ交通手段を利用することが、安心できるとともに利便性の高い環境であると考えます。
- ◆ このような交通環境を確保することにより、新宿駅周辺以外の観光施設等への観光客や来街者が増え、地域の活性化を図ることが期待されています。

ウ 移動環境の急速な変化への対応

- ◆ I T 業界等の異分野が参入している交通シェアリングとの連携による相乗効果を得ながら、新しい移動価値を創造してほしいと考えています。

(2) どのようにして上記事項を改善し、どのような将来像を描いているか

- ◆ バス停空白地帯や坂道・階段が多く存在する地域を含む一定の範囲に居住する高齢者、子育て世帯、障害者のほか様々な区民にとって、徒歩や自転車移動の代替となる身近な新しい交通手段を、区内の交通事業者様が面的に提供して頂くことにより、移動格差のない公平な社会環境の実現、多様な移動手段の選択ができる環境の実現、地域の利便性向上を図りたいと考えています。
- ◆ 新たな交通手段の提供は、タクシーとバスの中間のような移動サービスとなるオンデマンド交通が、区民の要望にきめ細かく応える柔軟性を有するとともに、複数人の観光客等も一度に運ぶことができる効率性を有することから、適していると考えています。

(3) 区の役割

- ◆ 対象区域の住民に対する合意形成
 - ◆ 区の広報媒体等を活用した周知・利用促進
 - ◆ その他関係者との調整
- で連携・協力いたします。

3 ご回答の期限

令和5年8月18日（金）

4 ご回答の取扱い

- ・ 別紙のアンケート調査票に対して頂いたご回答は、分科会長、副分科会長、事務局（新宿区）のみで共有させて頂き、A I オンデマンド交通の導入に向けた検討以外には活用いたしません。
- ・ 令和5年8月30日に開催する分科会（第2回）では、回答内容に対する回答者がわからないような配慮をいたしますので、委員、オブザーバーの皆様に調査結果を共有したいと考えています。
- ・ また、分科会設置要領第5条第6項の規定により、令和5年8月30日に開催する分科会（第2回）を非公開とするとともに、ホームページでも当該資料を非公開いたします。